③フォントの設定

電子入札システムを使用するパソコンでは、JIS2004対応フォントが使用できません。 以下手順を参照の上、JIS2004の使用制限を行ってください。

1. Windows8.1またはWindows10(バージョン1909以前)をご利用の方

- (1)ツールバーに表示される「A」や「あ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
 ※メニュー内に「プロパティ」がない場合は、「2. Windows10(パージョン2004以降)をご利用の方」をご確認ください。
- (2)IME プロパティを開き、画面上部の「変換」タブ①をクリックします。 画面上の「詳細設定」ボタン②をクリックします。

Microsoft IME の詳細設定							
全般	変換	和英混在	入力 辞録	8/学習 2	オートコレクト	予測入力	プライバシー その他
変換		1					
I	自動変換を	行うときの未	空換文字	列の長さ:			
	0.	目的(<u>5</u>)	●長め(」	.)			
E	2 挿入時	前の内容を	参照して菜	換する(工)			
E	異なる文	と節区切りの	変換候補物	表示する(E)		
6	オメインキ	ーボードの数	字キーで修	構を選択す	73(<u>B</u>)		
E	注目文	節が移動する	ときに移動	前の注目な	文節を確定す	'ଶ(<u>U</u>)	
. 6	候補一覧に	適加で表示	する文字相				
	☑ 05:	がな(I) 1カタカナ(<u>K</u>)		カタカナ(M マ宇(E)	()	¥相設定(<u>D</u>)	2
JXC	トの表示						
6	▼文字コ>	いトを表示す	'ă(⊻)				
E	✔"環境依	存文字の文	マ字コメント	を表示する	(<u>E</u>)		
E	┛単語コ>	いトを表示す	3(N)				
フォン	や固定						
E	✔ 候補一	髭のフォントを	固定する()	X)			

(3)「JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する」①をチェックします。 「OK」ボタン②をクリックします。

	変換	×
送りがなとかな違いの基準 全部(E) 許容も含める(M) 本則だけにする(B) 	説明と例 すべての送り方が変換候補に出るようにします。 あらわす → 表す、表わす めもり → 目盛り、目盛 ふきさらし → 吹き曝し、吹きさらし、吹曝し、吹さらし	
句読点変換		
□ 句読点などの文字が入 □ 、/, (Y) 図 =/	カされたときに変換を行う(Q) /・(Z) ■終わりかっこ(G) 図?(Q) 図!(E) ■・(X)	
変換文字制限		
○変換文字制限をしない	(<u>N</u>)	
O IVS (Ideographic V	ariation Sequence) を含む文字を制限する(V)	
 サロゲート ペアを含む文 Chift IIC で堪成される 	(字を制限する(U) トゥマのユが施設法に手テオス(s)	
 JIS X 0208 で構成され 	2、チリの変換候補に表示する(1) れた文字のみ変換候補に表示する(1)	
□ 外字の入力を許す	(<u>A</u>)	
 印刷標準字体で構成() 	された単語のみ変換候補に表示する(P)	
	2 OK ++>>til NLJ	

2. Windows10(バージョン2004以降)をご利用の方

(1)ツールバーに表示される「A」や「あ」を右クリックし、「設定」①を選択します。



(2)Microsoft IMEの設定画面より、「全般」①をクリックします。



(3)「JIS X 0208 のみ」にチェックをします。

← 設定		×
☆ 全般 一 □ □-マ字		
変換候補の一覧に含める文字セットを選択する		
びまして		
○ IVS を除く		
○ サロゲート ペアを除く		
🔘 Shift JIS ወみ		
● JIS X 0208 のみ		
EUDC 文字の入力を許可する		
○ 印刷標準字体のみ		

以上で設定は終了です。